

地球温暖化で食卓が変わる!?

一番大きな影響を受けるのは?・・・農業です。

気候変動により、洪水、干ばつ、山火事などが増加、大規模化し、食糧の確保・供給および人々の生活に壊滅的な影響を及ぼす可能性がある

(2021年3月18日、FAO(国連食糧農業機関)が、発表したレポート)

災害の発生量・・・1970年代や1980年代と比較すると3倍以上

災害量における農業の割合・・・約63%

肉食から菜食主義へと移行?

脱炭素社会では・・・温室効果ガスであるCO₂やメタンを出す牛や豚などの肉食を少なくして、緩やかに菜食主義へと移行することが推奨されるようになっている。

代替肉が推奨される・・・大豆など植物由来で、生産過程でのCO₂排出の少ない代替肉を選択することが推奨される

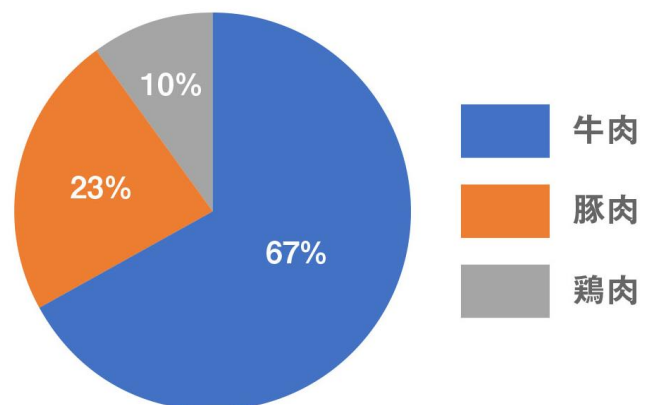
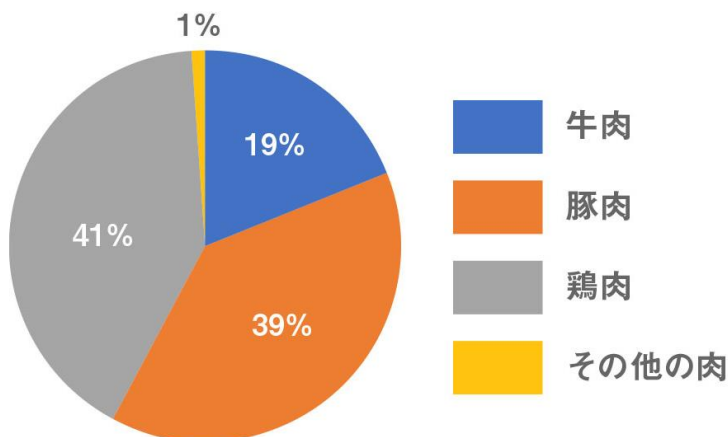
食料価格の高騰

異常気象による災害の多発・・・農産物被害で供給量が減少し、価格高騰に繋がる

CO₂排出削減のためのバイオ燃料の生産増加・・・トウモロコシやサトウキビはバイオ燃料の主な原料であるため、バイオ燃料の使用が盛んになれば食料と競合し、価格高騰に繋がる

肉類の一人当たりの年間消費量約(31キログラム)の割合

肉1キログラム当たりのCO₂排出量の割合



コーヒーやチョコレートなど食べられなくなるものも

コーヒー・・・商業的に使われているコーヒーはアラビア種が多く、このアラビア種の生産に適した土地の半分以上は、2050年までには温暖化の影響でコーヒーが作ることができなくなると言われています。

チョコレート・・・原料であるカカオは、その生産地は暖かくて雨量の多い環境が必要です。しかし、気温が高くなると、土壌や植物から蒸発する水分の量が増えるので、その蒸発量を補う雨量が必要となりますが、補うほどの雨は降らないと考えられているようで、そうになると、カカオが育つのは難しくなります。

漁業への影響

漁場の北上・・・気温が上昇したことで、従来の漁場で捕獲できていた魚類が北上していると言われている

例えば、ぶりは日本海で獲れることが多かったが、函館での漁獲量が増えたという変化がみられたそうだ。さらに温暖化が進むと、日本海で獲れなくなる魚が増えるとかんがえられる。

牡蠣の養殖にも打撃・・・温暖化による海水のCO₂濃度の上昇が牡蠣のような貝類にとって適応や成長が難しく、絶滅の恐れも生じる

海流の変化による魚類の変化・・・寒流で親潮と呼ばれている千島海流、暖流で黒潮と呼ばれている日本海流、そして暖流と寒流が会う、よい漁場とされている潮目と呼ばれるところ、それら、温暖化の影響で変わってしまう恐れがあり、魚類にも変化が生じる。

農作物	生産地	農作物	生産地
レタス	長野、茨城、群馬	みかん	和歌山、愛媛、静岡
白菜	茨城、長野、北海道	ぶどう	山梨、長野、山形
ジャガイモ	北海道	桃	山梨、福島、長野
サツマイモ	鹿児島、茨城、千葉	さくらんぼ	山形、北海道
キャベツ	愛知、群馬、千葉	うめ	和歌山、群馬
きゅうり	宮崎、群馬、福島	イチゴ	栃木、福岡、熊本
ナス	高知、熊本、群馬	梨	千葉、茨城、栃木
ピーマン	茨城、宮城、高知	柿	和歌山、奈良、福岡
ほうれん草	千葉、埼玉、群馬	小麦	北海道、福岡、群馬、
玉ねぎ	北海道、佐賀県、兵庫県	米	新潟、北海道、秋田
落花生	千葉、茨城	サトウキビ	沖縄、鹿児島
菊	愛知、沖縄、福岡	茶	静岡、鹿児島、三重
リンゴ	青森、長野、山形	い草	熊本、福岡